

百聞不如一見、百見不如一干

中国が作る世界情勢

- 中国の戦略はグローバルで骨太
- 目まぐるしく変わる中国の動向は継続ウオッチが必須
- 中国の社会変化、政府動向は、リアルな体感が必要
企業交流を通じてこれらを感じ、知ることができる

日中企業連携プロジェクト

- 中国企業/政府系団体 *との長期にわたる友好関係に基づく連携会議

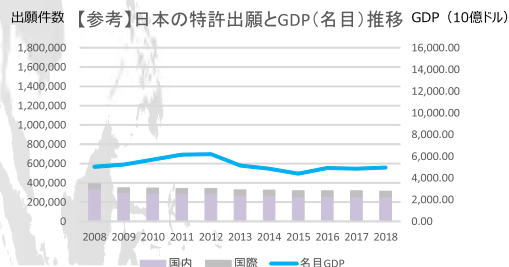
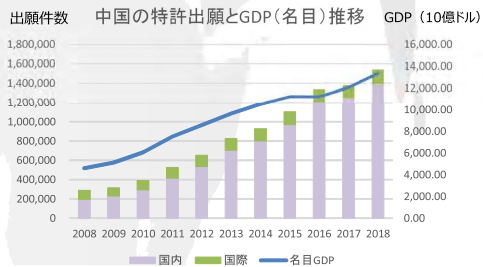
* 中国専利保護協会 (PPAC)、上海市知識産権局/知識産権服務中心、広東省知識産権局/知識産権研究会

- 中国企業と知財戦略を直接話し合える重要なプラットフォーム
- 中国の知財動向を通じて世界の知財情勢の一端が見える
- 知財議論を通じた日中企業の相互理解、相互発展を目的に
2005年の『日中企業連携・知財フォーラム』として上海で始まる
- 互学、互習の精神で始まり現在では、経験と課題を共有



知財を巡る中国事情

- 骨太の経済政策/知財政策への官民一体となった取組
 - ✓ 『一帯一路』・『中国製造2025』・『インターネット+』
 - ✓ スタートアップ/ユニコーン/成長企業が急増、世界シェア上位企業も
- 経済成長に呼応する右肩上がりの中国特許出願
- 特許侵害訴訟も急増 (2018年の特許侵害訴訟は1.6万件、前年比29.5%増)



百聞不如一見、百見不如一干

2018年度連携会議

- 日時：2019年3月5日 (東京) 22日 (北京市) 25日 (上海市)
- メンバー

日本側：キヤノン、ダイセル、ソニー、富士通、三菱電機、京セラ、古野電気、味の素、東レ、村田製作所

中国側：奥翼電子、広州化学、白雲山製薬、テンセント、Midea、金発科技、GREE、深圳市景田食品飲料 (以上、広州連携会議)



北汽集団、北京視科技、国家核電、恒宝株式、東旭集団、LENOVO、漢王科技、CloudMinds (以上、北京連携会議)

成套設計研究院、灿瑞科技、当方国際集団、西宝生物、微創医療器械、百事通、航發商用、電科電器 (以上、上海連携会議)



- 二つのテーマ『事業の発展と知的財産』/『グローバル環境における知的財産マネジメント』で日中双方の企業が自社の取組、課題をプレゼン後に議論。

- 会議で見た中国企業の知財戦略 (詳細は『知財管理』誌2019年9月号に掲載)
 - ✓ 特許分析による国際的なM&Aへの貢献などビジネスに寄り添った活動を重視
 - ✓ 早くて広いインセンティブにより従業員を特許パートナーとし、発明完成行為を投資行為に転換
 - ✓ 起業段階では政府のサポートにより知財体制を構築し、知財を資金調達に活用
 - ✓ 事業の各段階に応じた知財戦略の使い分けと知財資産の購買、管理

2019年度連携会議

JIPA会員企業に還元する最大の機会 (現在の中国知財事情がリアルに伝わる)

東京会議

- 日時：2020年3月17日 (火)
- 場所：東京 飯田橋レイナービル
- 参加予定中国企業：北京企業6~8社で調整中

広州会議

- 日時：2020年3月20日 (金・祝)
- 場所：中国 広州市
- 参加予定中国企業：HUAWEI, ZTE, TENCENT, GREE, 美的, BYD, DJI, 中国広東化学会社, 威創, 視源電子等で調整中